

はじめに

本調査は、当金庫のお取引先のご協力により昭和50年7月から実施しているものです。四半期ごとに調査を行い、D.I.を中心として分析を行っています。

なお、当金庫では6種類の一般業種のほか、地域金融機関として地場産業に重点を置いた調査を行い、次の8業種を選定しております。

- ① 縫製業
- ② 電子部品・半導体製造業
- ③ 漆器業
- ④ 木材業
- ⑤ 建具業
- ⑥ 織布業
- ⑦ 繊維・雑品業
- ⑧ 観光業

今回の調査は、令和5年4月～6月期の業況実績と、令和5年7月～9月期の見通しについて、管内510先の事業所を対象に実施いたしました。

些かなりとも経営のお役に立てていただければ幸いです。

※D.I. (Diffusion Index) 拡張指数

不変部分を除いて増加（上昇）したとする企業と、減少（下降）したとする企業の全体に占める構成比のどちらの力が強いかを比べて、時系列的に景気のベクトルの傾向を見る方法です。

**** 目次 ****

1. 概況	1
2. 地区内の業況D.I.推移	2
3. 一般業種の業況	
(1) 製造業	3
(2) 卸売業	4
(3) 小売業	5
(4) サービス業	6
(5) 建設業	7
(6) 不動産業	8
4. 地場産業の業況	
(1) 能登地区の縫製業	9
(2) 能登地区の電子部品 ・半導体製造業	10
(3) 能登地区の漆器業	11
(4) 能登地区の木材業	12
(5) 能登地区の建具業	13
(6) 能登地区の織布業	14
(7) 能登地区の繊維・雑品業	15
(8) 能登地区の観光業	16
5. 経済指標	17～18
6. 特別調査	
アフターコロナと中小企業	19

(注) 令和5年4月～6月を今期、令和5年1月～3月を前期、令和5年7月～9月を来期という、以下同じ。

調査対象企業の業種別先数および有効回答数

	依頼先	有効回答数	回答率 (%)	構成比 (%)
製造業	150	145	96.7	29.5
卸売業	24	23	95.8	4.7
小売業	145	137	94.5	27.8
サービス業	89	87	97.8	17.7
建設業	81	80	98.8	16.3
不動産業	21	20	95.2	4.0
合計	510	492	96.5	100.0

◇◆◇ 概 況 ◇◆◇

《 2023 年 4 月～6 月》

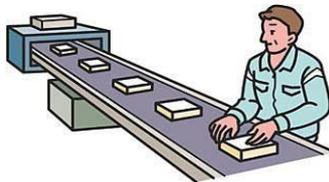
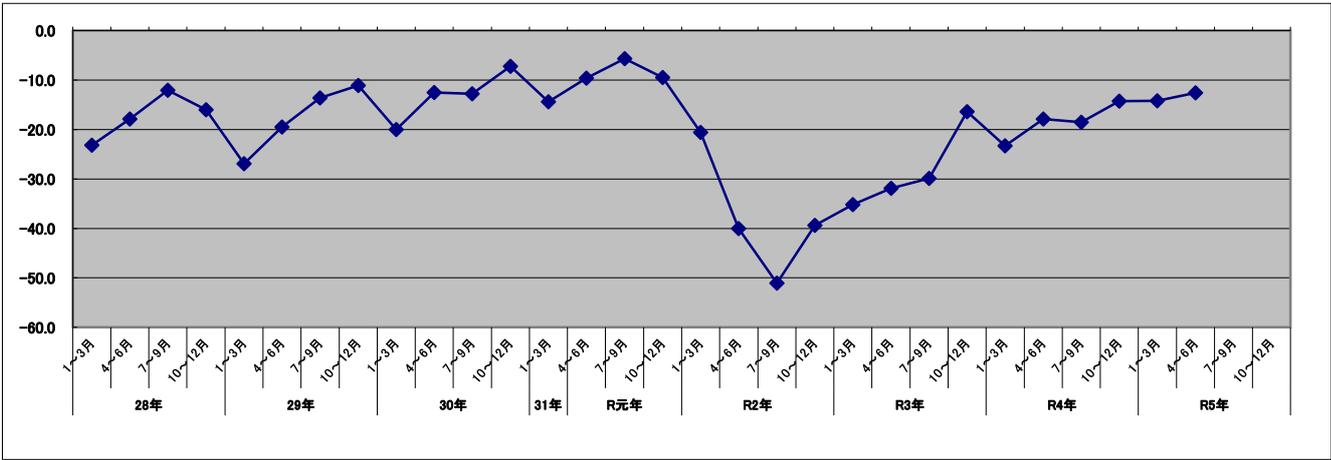
日本政府は令和 5 年 5 月 8 日付けで、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けを「新型インフルエンザ等感染症（2 類相当）」から「5 類感染症」に移行した。日常における基本的感染対策を求められなくなることや、新型コロナの陽性者及び濃厚接触者の外出自粛が求められなくなるなど、今までと対応が大きく変わる。また同日付で日本政府は入国制限の解除も行った。国内外の観光客の流れや国内の人流が段階的に戻っていくと予想される。為替レートでは、令和 4 年 10 月に 1 ドル 150 円を突破して以降、令和 5 年 1 月中旬に 1 ドル 130 円台まで落ち着いたが、日銀の植田総裁が、前任の黒田総裁と同じように金融緩和の流れを示唆したことから、令和 5 年 6 月現在も 1 ドル 140 円台で推移しており、円安ドル高の傾向が続いている。自然災害の発生による被害もあった。令和 5 年 5 月に珠洲市で起きた震度 6 強の地震により、計 468 棟もの家屋が被害を受け、内訳は全壊 9 棟、半壊 9 棟、一部破損が 450 棟だった。

こうした中で、当金庫営業地区の今期業況 D.I. は、△ 1 2. 6（前期△ 1 4. 2）とやや改善した。地区内全般では、小売業、建設業は改善し、製造業、建設業は横這いで、卸売業もほぼ横這い、サービス業は悪化した。地場産業では縫製業、漆器業が大幅に改善し、繊維・雑品業が改善、電子部品・半導体製造業が横這いで、織布業、観光業が悪化、木材業、建具業が大幅に悪化した。今期は地区内全般・地場産業ともに、業種により改善と悪化の明暗が分かれる結果となった。主な動向を見ると、長く続いていた半導体の供給不足は少しずつ解消されてきている。木材の価格高騰も落ち着いてきているが、コロナ禍以前と比較すると価格は高止まりしている。業界全体で原材料の段階的な値上がりは続いている状況で、値上げを予定しているものはジャンルを問わず、品目も多岐に亘る。また、賃金の改定などで人件費も増加する傾向にあり、事業主にとっては経費をどう切り詰めるかなど、企業努力を求められる厳しい状態が続く。

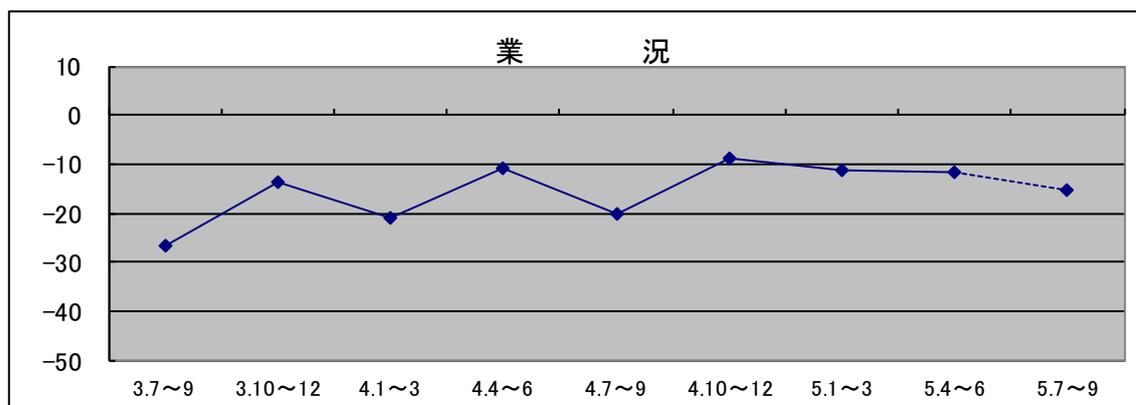
コロナウイルスの感染症法上の位置付けの移行により人流が回復することは、経済の流れには必要不可欠であり、業種によっては心待ちにしていたことであるが、一方でステイホームによる需要で潤った業界にとっては逆風になる。また、輸出面では有難い円安傾向も、輸入を主にする事業者にとっては都合が悪い。業種や置かれている立場によって望む状況は異なるが、外的要因・内的要因それぞれにバランスを取りつつ経営を行えるよう、企業の経営体制を確立していかなければならない。

地区内の業況D. I. 推移

年	期間	業況D. I.	年	期間	業況D. I.
H28年	1~3月	△ 23.2	R2年	1~3月	△ 20.6
	4~6月	△ 17.9		4~6月	△ 40.0
	7~9月	△ 12.1		7~9月	△ 51.1
	10~12月	△ 16.0		10~12月	△ 39.4
H29年	1~3月	△ 26.9	R3年	1~3月	△ 35.2
	4~6月	△ 19.5		4~6月	△ 31.9
	7~9月	△ 13.6		7~9月	△ 29.9
	10~12月	△ 11.1		10~12月	△ 16.4
H30年	1~3月	△ 20.0	R4年	1~3月	△ 23.3
	4~6月	△ 12.5		4~6月	△ 17.9
	7~9月	△ 12.8		7~9月	△ 18.5
	10~12月	△ 7.2		10~12月	△ 14.3
H31年	1~3月	△ 14.4	R5年	1~3月	△ 14.2
R元年	4~6月	△ 9.6		4~6月	△ 12.6
	7~9月	△ 5.7		7~9月	
	10~12月	△ 9.5		10~12月	



製造業



【概 況】

今期（R5.4月～6月）の業況D.I.は前期からほぼ横這いで、△11.7（前期△11.4）となった。売上・収益・資金繰りについて改善したとの回答が増えた。一昨年から続いた業況の改善と悪化が交互に来る波は一旦落ち着いてきているが、先行きは不透明である。

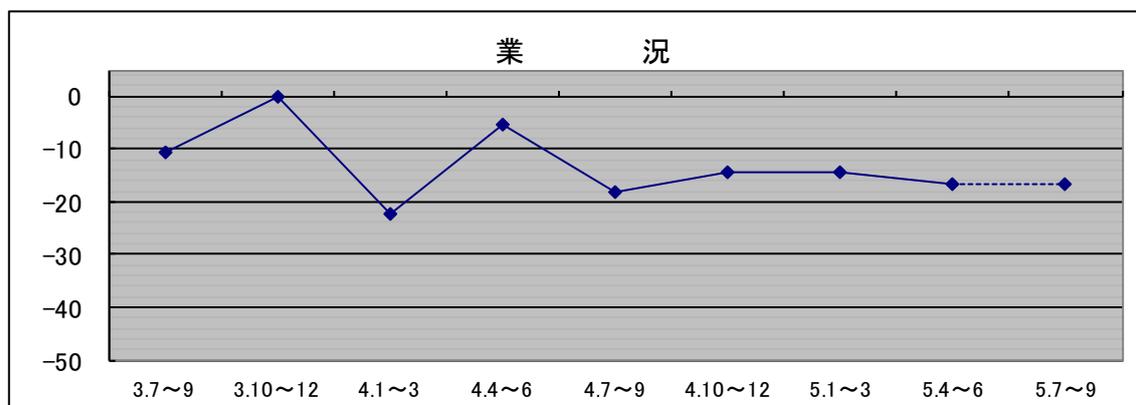
来期（R5.7月～9月）の業況D.I.は△15.2と原材料高の影響などが続くことが考えられ、若干の悪化を予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年		令和4年				令和5年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△26.8	△13.9	△20.9	△10.8	△20.3	△8.8	△11.4	△11.7	△15.2
売上	△19.5	△3.1	△15.0	△2.2	△15.2	2.2	△12.9	6.9	△2.8
収益	△13.7	△10.8	△17.6	△10.8	△21.7	△5.1	△17.1	△12.4	△17.9
資金繰り	△7.9	△10.3	△8.0	△7.2	△11.6	△9.6	△10.0	△4.8	△8.3
人手	△3.2	△2.6	△3.2	△3.6	△5.1	△8.8	△6.4	△5.5	△5.5
設備	△2.6	△3.1	△2.1	△2.2	△3.6	△3.7	△3.6	△4.1	△4.8

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	16.6%	提携先を見つける	31.4%
原材料高	13.6%	販路を広げる	20.0%
輸入製品との競争の激化	12.0%	経費を節減する	18.0%

卸売業



【概 況】

今期（R 5.4月～6月）業況D.I.は△16.7（前期△14.3）とほぼ横這いであった。卸売業内の業況は低い水準で停滞している状態で、仕入価格が高止まりしている。

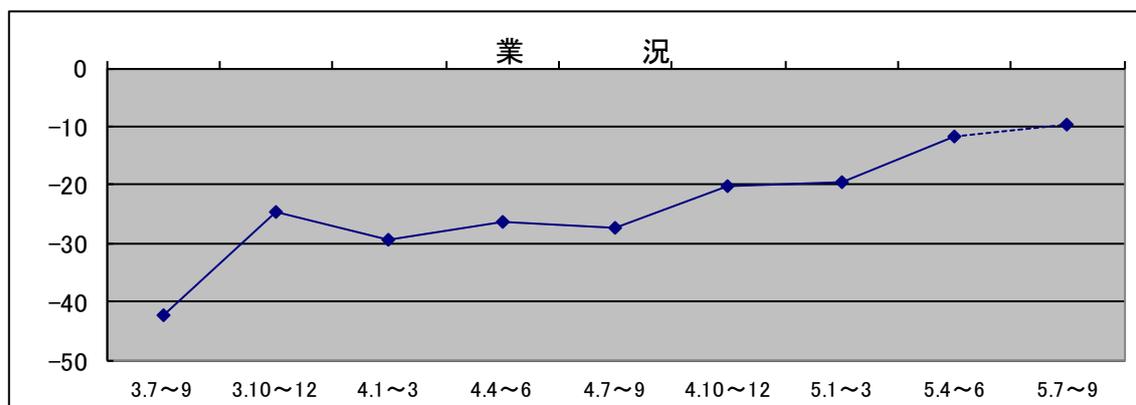
来期（R 5.7月～9月）の卸売業全体の見通しは△16.7と横這いを予想、在庫を除き、改善か横這いを予想している。個人消費は緩やかな改善傾向にあるが、円安や物価高の影響などが続いているため、先行きは不透明である。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年		令和4年				令和5年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	△10.7	0.0	△22.2	△5.3	△18.2	△14.3	△14.3	△16.7	△16.7
売 上	△21.4	△3.6	△14.8	15.8	9.1	4.8	9.5	4.2	4.2
収 益	△25.0	△7.1	△18.5	5.3	△22.7	△14.3	△14.3	△25.0	△25.0
仕入価格	21.4	25.0	51.9	47.4	45.5	57.1	42.9	50.0	41.7
在 庫	△14.3	△7.1	△3.7	0.0	△4.5	△9.5	△9.5	0.0	△4.2
資金繰り	△14.3	△3.6	3.7	△26.3	△18.2	△23.8	△19.0	0.0	4.2

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
合理化の不足	19.7%	提携先を見つける	28.6%
売上の停滞・減少	13.6%	経費を節減する	18.6%
同業者間の競争の激化	12.1%	販路を広げる	15.7%

小売業



【概 況】

今期（R 5.4月～6月）の業況D.I.は△11.8（前期△19.7）と改善した。業界内で悪化したとの回答が見られたのは石油・ガソリン、電化製品、食料品、医薬品や酒類販売などで、円安や原油価格高騰の影響がみられる。

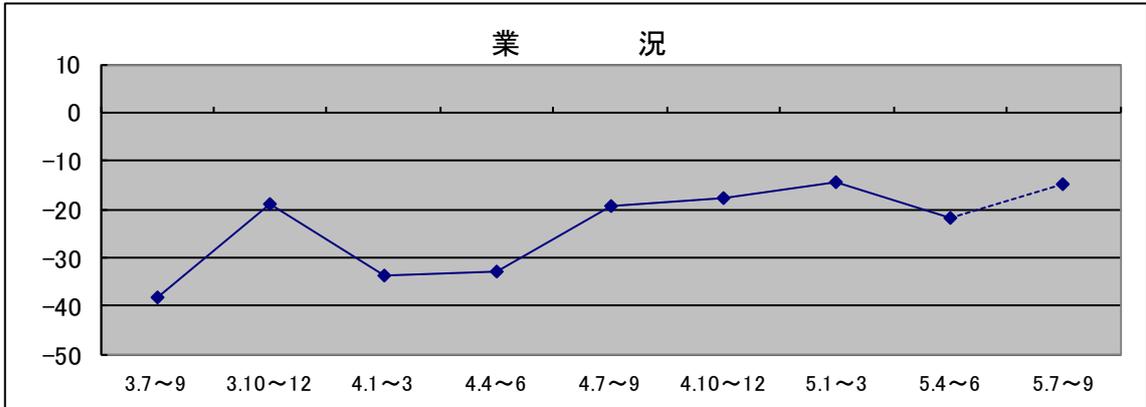
来期（R 5.7月～9月）業況D.I.については△9.6と引き続き改善を予想しており、販売価格の下降を除いて、全ての項目について改善を予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年		令和4年				令和5年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△42.2	△24.5	△29.4	△26.3	△27.5	△20.4	△19.7	△11.8	△9.6
売上	△34.4	△14.7	△22.6	△19.7	△13.8	△7.3	△11.7	△5.9	△0.7
収益	△34.4	△14.7	△26.0	△27.0	△22.5	△12.4	△15.3	△16.2	△8.1
販売価格	△2.8	7.6	11.9	17.5	28.3	34.3	16.1	27.9	18.4
在庫	△0.6	1.6	1.1	△7.3	0.7	0.7	△5.1	△0.7	1.5
資金繰り	△12.8	△13.0	△11.9	△12.4	△8.7	△11.7	△6.6	△13.2	△10.3

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
地価の高騰	21.4%	仕入先を開拓・選別する	27.7%
商圈人口の減少	16.2%	経費を節減する	22.9%
売上の停滞・減少	13.9%	宣伝・広告を強化する	13.7%

サービス業



【概 況】

今期（R 5.4～6月）業況D.I.は△21.8（前期△14.3）と悪化を示した。

5月にコロナウイルスが2類感染症から5類に移行したことにより、イベントの開催数は増加し、県内外からの観光客も増えている。しかし、物価高等の影響によるものか、今期は全ての項目で悪化を示した。

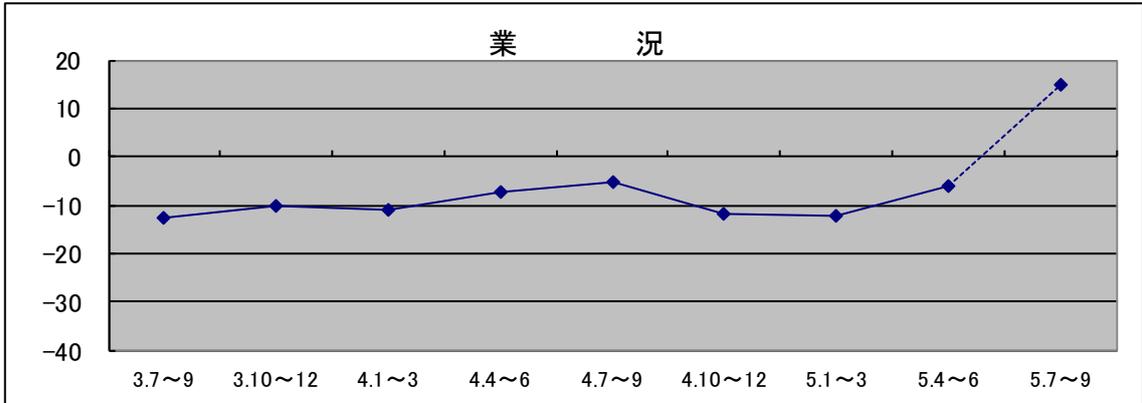
来期（R 5.7月～9月）業況D.I.は△14.9と祭りや花火大会など夏のイベントの開催予定が控えており、サービス業界にとって追い風の状況になることから改善を予想。他の項目についても料金価格以外は改善するとの見通し。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年		令和4年				令和5年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	△38.1	△19.1	△33.9	△32.9	△19.3	△17.6	△14.3	△21.8	△14.9
売 上	△32.7	△1.7	△26.8	△25.9	△14.5	△5.9	3.6	△23.0	△8.0
収 益	△31.0	△2.6	△26.8	△25.9	△9.6	△5.9	3.6	△21.8	△11.5
料金価格	△8.8	0.9	10.7	△4.7	10.8	15.3	8.3	8.0	9.2
資金繰り	△21.2	△10.4	△16.1	△21.2	△7.2	△5.9	0.0	△8.0	△4.6
設 備	△3.5	△5.2	△8.9	△5.9	△6.0	△3.5	△2.4	△9.2	△5.7

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	16.1%	提携先を見つける	31.3%
利幅の縮小	15.7%	経費を節減する	18.0%
同業者間の競争の激化	12.1%	販路を広げる	15.9%

建設業



【概況】

今期（R 5.4月～6月）の業況D.I.は△6.2（前期△12.2）とやや改善を示した。売上・収益は悪化、請負価格・人手は横這いで資金繰りは改善した。令和3年末頃をピークに製材の輸入価格は下落傾向になってきているが、コロナ禍以前に比べると高値を維持しており、民間工事や一般住宅の建設は若干増えて改善している。経営上の問題点は順に「人件費以外の経費の増加」、「合理化の不足」と「売上の停滞・減少」が並び、経費の節減が一番の課題ととらえている事業者が多い。

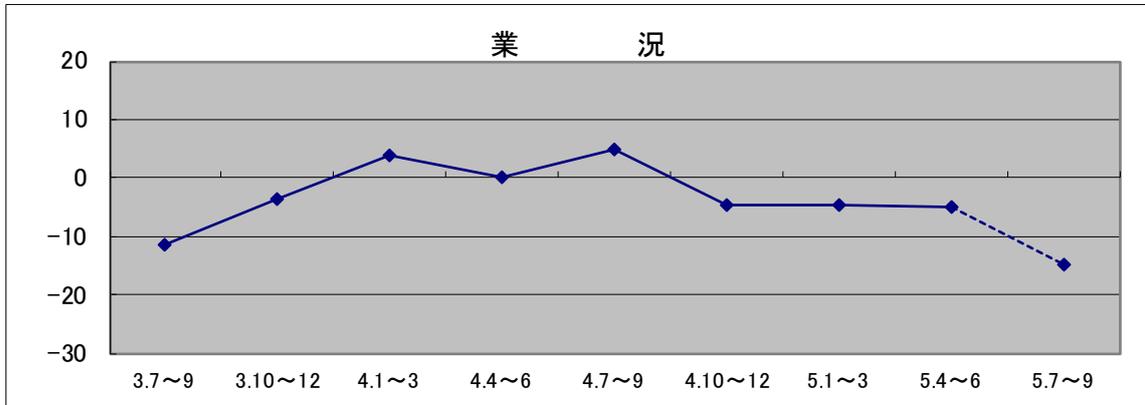
来期（R 5.7月～9月）の業況D.I.は15.0と改善を予想、売上・収益は改善の予想であるが、請負価格は下降、資金繰りは悪化、人手は横這いの見通し。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年		令和4年				令和5年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△12.5	△10.2	△11.2	△7.5	△5.1	△12.0	△12.2	△6.2	15.0
売上	△6.8	△12.5	△9.0	△1.2	△5.1	△10.8	0.0	△3.8	12.5
収益	△6.8	△12.5	△11.2	△16.2	△10.3	△16.9	△3.7	△15.0	1.2
請負価格	△5.7	△2.3	△5.6	11.2	14.1	26.5	15.9	15.0	7.5
資金繰り	△9.1	△8.0	△7.9	△6.2	△7.7	△18.1	△2.4	0.0	△2.5
人手	△8.0	△8.0	△12.4	△7.5	△7.7	△14.5	△4.9	△5.0	△5.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
人件費以外の経費の増加	15.2%	技術力を高める	27.3%
合理化の不足	12.9%	経費を節減する	17.6%
売上の停滞・減少	12.4%	人材を確保する	12.0%

不動産業



【概況】

今期（R 5.4月～6月）の業況D.I.は△5.0（前期△4.8）と横這いを示した。販売価格は改善したが、他の項目は悪化した。全体的に価格はやや落ち着いたが売れ行きは不調である。

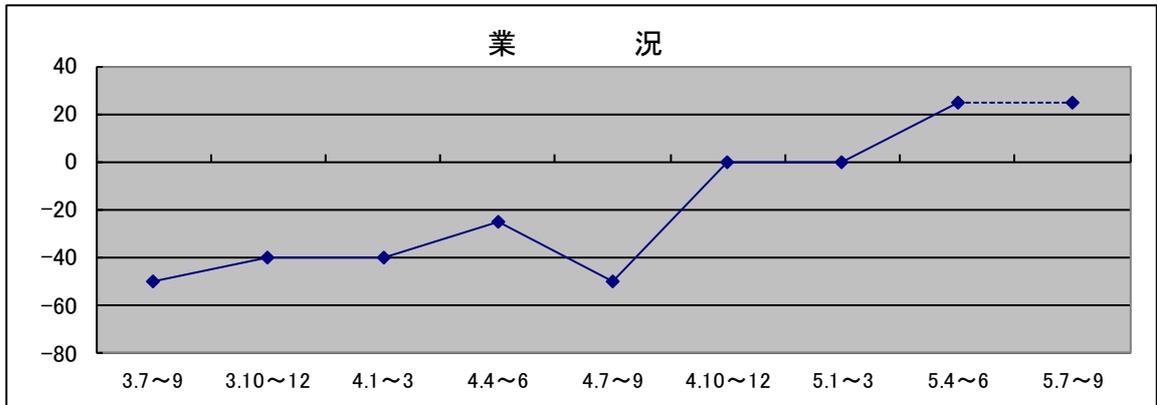
来期（R 5.7月～9月）は今期に比べ人の動きが少なくなる時期であるため、業況D.I.は△15.0で悪化の予想、売上・収益は改善の予想であるが、販売価格は上昇し、在庫・資金繰りは横這いの予想となっている。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年		令和4年				令和5年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△11.5	△3.8	3.7	0.0	4.8	△4.8	△4.8	△5.0	△15.0
売上	△19.2	△11.5	△7.4	△10.0	4.8	9.5	△9.5	△25.0	0.0
収益	△7.7	△7.7	0.0	10.0	9.5	9.5	0.0	△25.0	△10.0
販売価格	△3.8	0.0	7.4	15.0	19.0	23.8	4.8	0.0	10.0
在庫	△7.7	0.0	0.0	△15.0	△19.0	△9.5	△4.8	△10.0	△10.0
資金繰り	△7.7	△3.8	3.7	△5.0	△19.0	△9.5	0.0	△5.0	△5.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
同業者間の競争の激化	18.5%	販路を広げる	19.6%
商品物件の高騰	18.5%	宣伝・広告を強化する	15.2%
人手不足	11.1%	提携先を見つける	15.2%

能登地区の縫製業



【概況】

今期（R 5.4月～6月）の業況D.I.は、25.0と大幅な改善を示した。売上・収益も大幅に改善し、好調といえる状態になった。コロナ禍での不安定な海外生産に円安という要因が加わり、国内回帰の動きが強まったためと思われる。しかし一般的に受注が増えている一方、人手不足は解消できていないため、今後生産能力の向上が課題となっている。

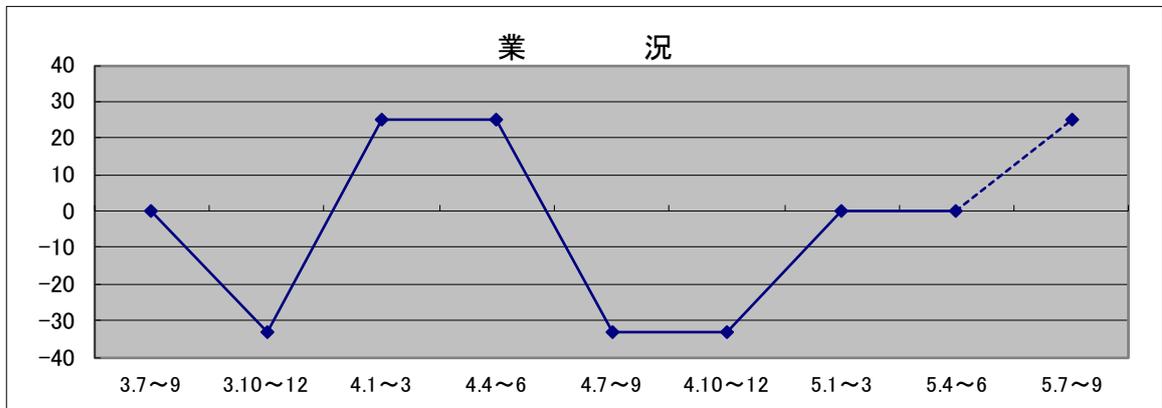
来期（R 5.7月～9月）の業況は現状維持を予想している。売上と収益は今期からは悪化するがプラスを維持すると予想し、他の項目については横這いを予想している。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年		令和4年				令和5年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△50.0	△40.0	△40.0	△25.0	△50.0	0.0	0.0	25.0	25.0
売上	0.0	△20.0	20.0	25.0	0.0	0.0	△25.0	50.0	25.0
収益	0.0	△20.0	0.0	25.0	△25.0	0.0	△25.0	50.0	25.0
資金繰り	0.0	△20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
人手	0.0	0.0	0.0	△25.0	△25.0	△75.0	△50.0	△50.0	△50.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△25.0	△25.0	△25.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	18.8%	新製品・技術を開発する	33.3%
人件費の増加	18.8%	経費を節減する	22.2%
人手不足	12.5%	人材を確保する	22.2%

能登地区の電子部品・半導体製造業



【概況】

今期（R 5.4月～6月）業況D.I.は、0.0と前期から横這い。世界的な半導体需要の高まりは落ち着いていないが、自動車関連の半導体不足が少しずつ解消されてきている中で円安も加わり、自動車生産自体は回復傾向を強めている。

今期は売上・収益が大幅に改善している。しかし資金繰り・人手・設備はマイナスで、良い状況であるとは言いがたい。

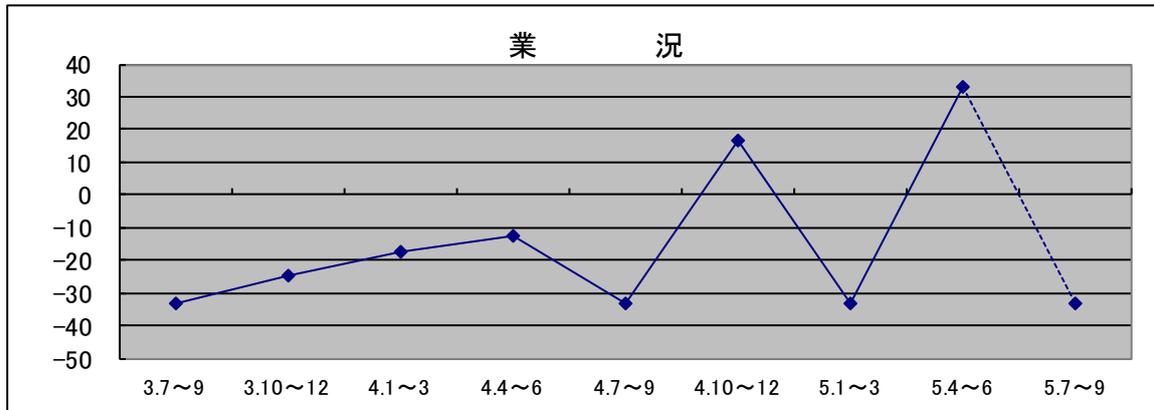
来期（R 5.7月～9月）、業況D.I.は更に改善する見込みであり、売上・収益も大幅に改善すると予想。他の項目については横這いになる見通し。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年		令和4年				令和5年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	0.0	△33.3	0.0	25.0	△33.3	△33.3	0.0	0.0	25.0
売上	0.0	0.0	40.0	△50.0	△33.3	△66.7	△50.0	0.0	25.0
収益	0.0	△66.7	40.0	△50.0	0.0	△33.3	△25.0	0.0	25.0
資金繰り	0.0	△33.3	0.0	△50.0	0.0	△33.3	△25.0	△25.0	△25.0
人手	0.0	0.0	△20.0	△25.0	0.0	0.0	0.0	△25.0	△25.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△33.3	△25.0	△25.0	△25.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争激化	33.3%	提携先を見つける	35.7%
売上の停滞・減少	22.2%	経費を節減する	21.4%
人手不足	11.1%	販路を広げる	14.3%

能登地区の漆器業



【概 況】

今期業況D.I.は、33.3と大幅に改善した。イベント開催や人流が回復したことで人手以外の全項目において大幅に改善したと思われる。しかし直近一年の業況は乱高下が激しく、漆器業界としては落ち着いていない。

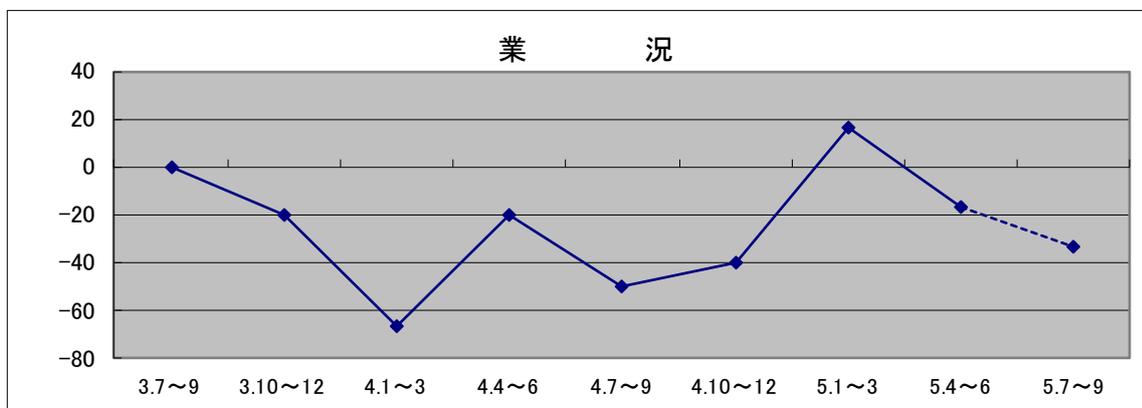
来期（R5.7月～9月）は例年悪化する時期であることから、今年も悪化の予想となっている。売上・収益においても悪化を予想。他の項目については横這いになる見通し。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年		令和4年				令和5年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	△33.3	△25.0	△17.6	△12.5	△33.3	16.7	△33.3	33.3	△33.3
売 上	△33.3	△6.2	△17.6	△12.5	△16.7	16.7	△16.7	16.7	△16.7
収 益	△27.8	△12.5	△17.6	△12.5	△33.3	16.7	△16.7	0.0	△33.3
資金繰り	△27.8	△25.0	△5.9	△12.5	△50.0	△33.3	△33.3	0.0	0.0
人 手	5.6	6.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	△16.7	△16.7	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	23.5%	提携先を見つける	36.8%
輸入製品との競争の激化	17.6%	販路を広げる	26.3%
地場産業の衰退	17.6%	経費を節減する	15.8%

能登地区の木材業



【概 況】

今期（R 5.4月～6月）業況D.I.は、△16.7と悪化した。売上・収益・設備は大幅に悪化、資金繰り・人では横這いであった。「ウッドショック」による影響はやや収まってきたものの、木材価格はコロナ禍以前に比べて高止まりしている。競合する輸入材の入荷は減少したが、業況は悪化したとの回答が依然多くみられた。

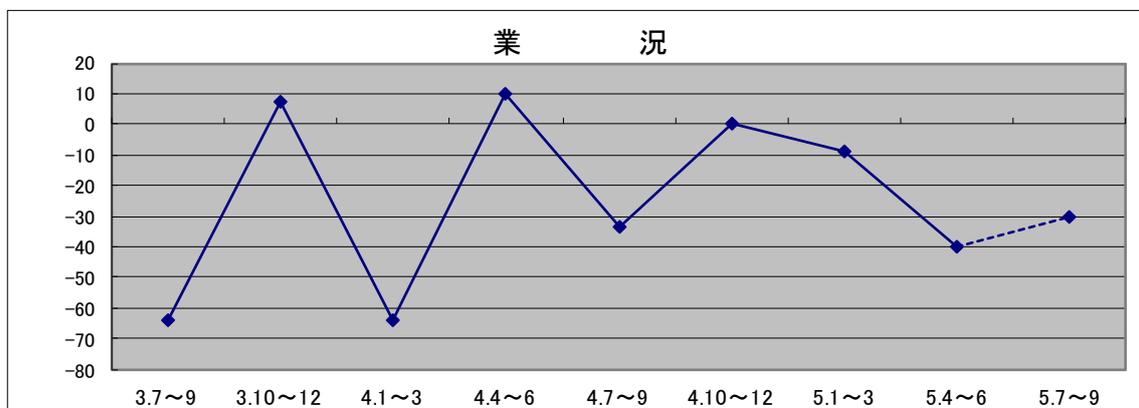
今期（R 5.7月～9月）業況D.I.は、△33.3で悪化を予想。資金繰り・人手が横這いで他の項目については悪化の予想。未だ改善の兆しは見えない。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年		令和4年				令和5年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業 況	0.0	△20.0	△66.7	△20.0	△50.0	△40.0	16.7	△16.7	△33.3
売 上	△40.0	△60.0	△66.7	△20.0	△37.5	△40.0	16.7	△16.7	△33.3
収 益	△20.0	△60.0	△50.0	0.0	△37.5	△40.0	16.7	△16.7	△33.3
資金繰り	△20.0	△20.0	△33.3	△20.0	△25.0	△20.0	△16.7	0.0	0.0
人 手	0.0	0.0	0.0	0.0	△12.5	0.0	△33.3	0.0	0.0
設 備	0.0	0.0	0.0	0.0	△12.5	0.0	0.0	△16.7	△33.3

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	22.2%	提携先を見つける	37.5%
取扱商品の陳腐化	22.2%	経費を節減する	25.0%
同業者間の競争の激化	11.1%	販路を広げる	12.5%

能登地区の建具業



【概況】

今期の業況D.I.は、 $\Delta 40.0$ と悪化し、売上はやや改善したが、収益は悪化した。経営上の問題点として「売上の停滞・減少」が挙がり、「大手企業との競争の激化」、「同業者間の競争の激化」が続いた。建築シーズンを迎え、例年通りなら改善を見せる時期であるが、思ったように需要が伸びなかった。今後も状況を注視していかなければならない。

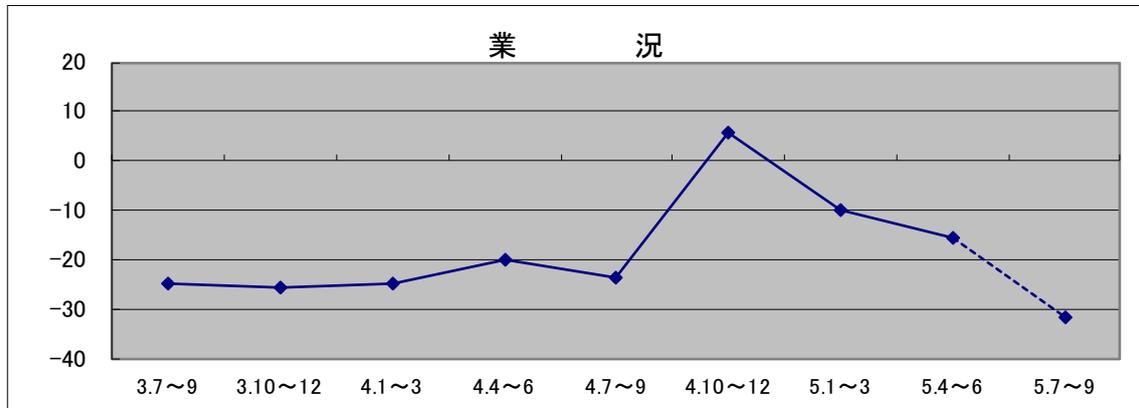
来期（R3.7月～9月）の業況D.I.は $\Delta 30.0$ と改善を予想しており、他の数値も改善か横這いの予想で、全体的に改善するとみている。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年		令和4年				令和5年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
業況	$\Delta 64.3$	7.1	$\Delta 64.3$	10.0	$\Delta 33.3$	0.0	$\Delta 9.1$	$\Delta 40.0$	$\Delta 30.0$
売上	$\Delta 50.0$	7.1	$\Delta 57.1$	10.0	$\Delta 33.3$	0.0	$\Delta 36.4$	$\Delta 30.0$	$\Delta 20.0$
収益	$\Delta 42.9$	7.1	$\Delta 64.3$	10.0	$\Delta 33.3$	0.0	$\Delta 27.3$	$\Delta 50.0$	$\Delta 40.0$
資金繰り	0.0	$\Delta 7.1$	0.0	0.0	$\Delta 22.2$	0.0	$\Delta 18.2$	$\Delta 10.0$	$\Delta 10.0$
人手	0.0	$\Delta 14.3$	0.0	0.0	$\Delta 11.1$	0.0	0.0	0.0	0.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
売上の停滞・減少	25.0%	提携先を見つける	37.5%
大手企業との競争の激化	15.6%	販路を広げる	25.0%
同業者間の競争の激化	15.6%	経費を節減する	18.8%

能登地区の織布業



【概 況】

今期（R5.4月～6月）業況D.I.は、△15.8（前期△10.0）とやや悪化を示した。売上・設備・資金繰りは改善したが、収益は大幅に悪化、人手はやや悪化した。個人消費は改善してきているが、原材料の高騰と加工コストの上昇が悪影響を及ぼしている。販売価格への転嫁や利益の確保が課題である。

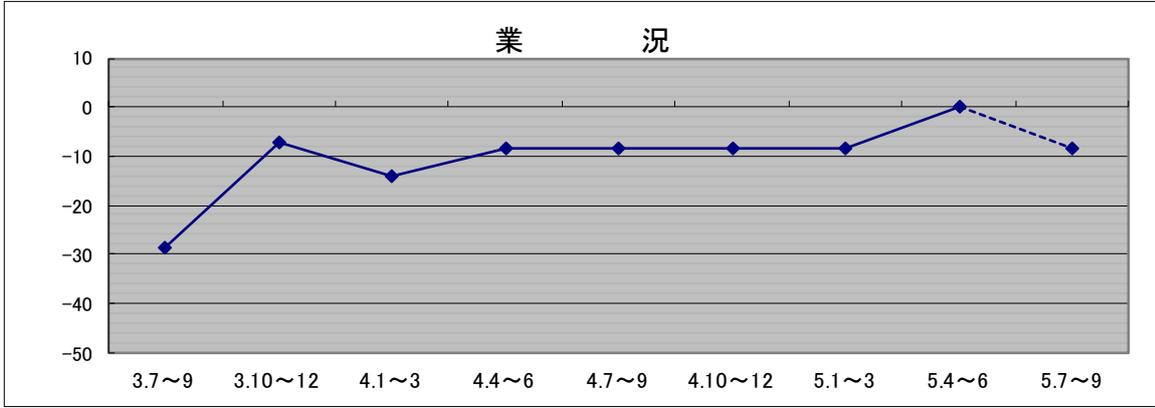
来期（R5.7月～9月）業況D.I.は、△31.6と悪化の予想。売上・収益についても悪化を予想しており、他の項目については横這いと全体的に悪化するとの見通し。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年		令和4年				令和5年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△25.0	△25.9	△25.0	△20.0	△23.5	5.6	△10.0	△15.8	△31.6
売上	△10.7	△29.6	△20.8	0.0	△17.6	22.2	0.0	36.8	15.8
収益	△3.6	△29.6	△8.3	△5.0	△17.6	22.2	0.0	△26.3	△42.1
資金繰り	0.0	△14.8	△8.3	△5.0	△17.6	△11.1	△20.0	△15.8	△15.8
人手	0.0	△3.7	△4.2	△10.0	△5.9	△11.1	△15.0	△15.8	△15.8
設備	0.0	0.0	0.0	△5.0	0.0	△5.6	△5.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
輸入製品との競争の激化	19.2%	提携先を見つける	26.4%
売上の停滞・減少	16.4%	販路を広げる	20.8%
原材料高	11.0%	情報力を強化する	13.2%

能登地区の繊維・雑品業



【概況】

今期（R5.4月～6月）業況D.I.は、0.0改善を示し、人手以外全ての項目で改善を示した。今期はマスクゴム紐の需要が落ち着き、お中元に使用される組紐の需要があった。

経営上の問題点としては「原材料高」が挙がっており、当面の重点施策は「提携先を見つける」との回答が目立った。

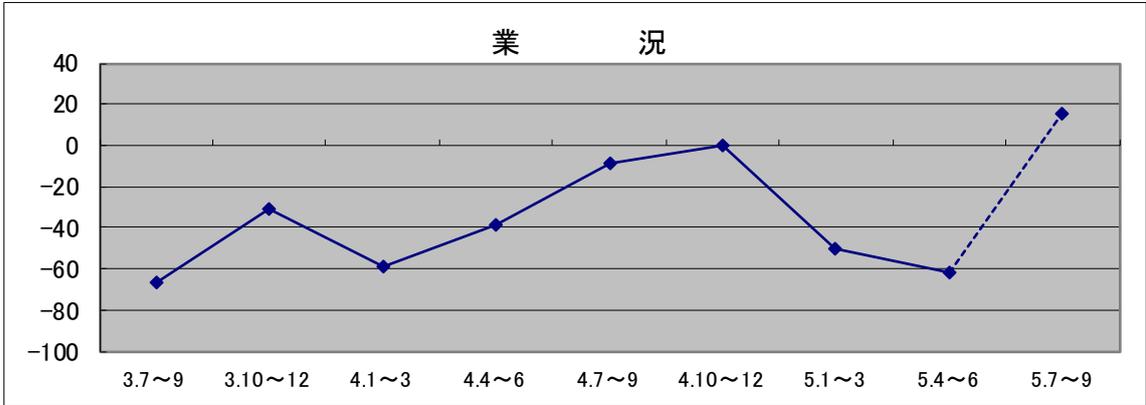
来期（R5.7月～9月）業況D.I.は、△8.3と前期（R5.1月～3月）水準に戻り、人手・設備以外全ての項目が悪化の予想となっている。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年		令和4年				令和5年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	
業況	△28.6	△7.1	△14.3	△8.3	△8.3	△8.3	△8.3	0.0	△8.3
売上	△28.6	14.3	△14.3	△8.3	△8.3	△8.3	△8.3	16.7	8.3
収益	△28.6	14.3	△14.3	△8.3	△8.3	△8.3	△8.3	16.7	8.3
資金繰り	0.0	△7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	△8.3
人手	0.0	0.0	7.1	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0
設備	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
原材料高	30.8%	提携先を見つける	29.7%
売上の停滞・減少	15.4%	販路を広げる	16.2%
大手企業との競争の激化	7.7%	経費を節減する	16.2%

能登地区の観光業



【概況】

今期（R 5.4月～6月）業況D.I.は、前期（R 3.1月～3月）の△50.0から△61.5と悪化を示した。国内外からの観光客は増加しているが、今期は改善に至らなかった。

来期（R 5.7月～9月）業況D.I.は、15.4と大幅な改善を予想している。他の項目においても、料金価格の上昇以外は全て改善を予想している。夏休みを迎え家族旅行等で人出が増える時期であり、各種イベントの開催予定があることが要因である。

《業績判断D.I.の推移》

	令和3年		令和4年				令和5年		見通し
	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
業況	△66.7	△31.2	△58.8	△38.5	△8.3	0.0	△50.0	△61.5	15.4
売上	△40.0	0.0	△41.2	△15.4	25.0	28.6	△14.3	△53.8	38.5
収益	△40.0	△12.5	△47.1	△15.4	25.0	7.1	△14.3	△53.8	38.5
料金価格	6.7	0.0	11.8	15.4	16.7	14.3	14.3	0.0	15.4
資金繰り	△33.3	△18.8	△17.6	0.0	8.3	0.0	0.0	△15.4	0.0
設備	△6.7	△12.5	△29.4	△15.4	△8.3	△7.1	0.0	△23.1	△15.4

経営上の問題点		当面の重点施策（経営のポイント）	
利幅の縮小	19.4%	提携先を見つける	23.3%
店舗・設備の狭小・老朽化	19.4%	経費を節減する	20.0%
売上の停滞・減少	12.9%	宣伝・広告を強化する	16.7%

主要経済指標

◆ 労働

(時間)

	有効求人倍率 (季節調整値)	実質労働時間	
			うち所定外
3年 8月	1.36	131.7	7.9
3年 9月	1.40	137.0	8.4
3年 10月	1.40	141.3	8.7
3年 11月	1.38	142.5	8.9
3年 12月	1.38	142.2	9.2
4年 1月	1.46	132.1	8.3
4年 2月	1.51	133.5	8.7
4年 3月	1.47	137.3	8.8
4年 4月	1.52	145.5	9.6
4年 5月	1.63	135.9	7.4
4年 6月	1.64	143.7	8.6
4年 7月	1.67	142.6	9.5
4年 8月	1.67	136.1	9.2
4年 9月	1.69	138.4	9.8
4年 10月	1.66	140.7	10.5
4年 11月	1.65	142.4	10.4
4年 12月	1.66	140.7	10.2
5年 1月	1.69	130.0	8.8
5年 2月	1.63	136.9	9.5
5年 3月	1.62	139.1	9.6
5年 4月	1.65	145.3	10.4

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 消費者物価指数

※平成28年より2015年(平成27年)を100としています。

	総合	前年同月比
3年 8月	99.9	0.1
3年 9月	100.2	0.7
3年 10月	100.2	0.3
3年 11月	100.1	0.6
3年 12月	100.1	0.6
4年 1月	100.2	0.1
4年 2月	100.8	0.9
4年 3月	101.0	0.8
4年 4月	101.3	2.0
4年 5月	101.6	1.8
4年 6月	101.3	1.6
4年 7月	102.0	2.2
4年 8月	102.5	2.6
4年 9月	102.9	2.7
4年 10月	103.2	3.0
4年 11月	103.4	3.3
4年 12月	103.6	3.5
5年 1月	104.2	4.1
5年 2月	103.4	2.6
5年 3月	103.8	2.8
5年 4月	104.7	3.3
5年 5月	104.7	3.1

資料: 石川県企画開発部統計課

◆ 信用保証

(百万円)

	保証承諾		保証債務	
	件数	金額	件数	金額
3年 11月	257	1,849	23,441	311,752
3年 12月	259	2,395	23,443	311,106
4年 1月	187	1,816	23,457	310,460
4年 2月	243	2,172	23,473	310,003
4年 3月	378	4,258	23,495	309,397
4年 4月	208	2,054	23,540	309,746
4年 5月	228	2,331	23,541	309,138
4年 6月	266	2,726	23,543	309,014
4年 7月	246	2,240	23,563	308,535
4年 8月	278	2,803	23,583	307,835
4年 9月	289	2,847	23,610	307,129
4年 10月	260	2,665	23,621	306,843
4年 11月	290	3,231	23,640	305,911
4年 12月	292	3,334	23,702	306,342
5年 1月	244	2,789	23,701	305,239
5年 2月	406	5,684	23,783	305,712
5年 3月	624	10,156	23,868	307,646
5年 4月	527	8,184	23,931	309,840
5年 5月	527	8,548	23,934	310,117
5年 6月	644	9,576	23,902	309,890

資料: 石川県信用保証協会

◆ 企業倒産件数

(百万円)

	件数	金額
3年 10月	7	6,514
3年 11月	4	640
3年 12月	4	578
4年 1月	2	950
4年 2月	4	200
4年 3月	7	2,279
4年 4月	3	184
4年 5月	2	432
4年 6月	4	184
4年 7月	3	705
4年 8月	2	1,210
4年 9月	6	3,888
4年 10月	7	585
4年 11月	4	500
4年 12月	5	330
5年 1月	2	100
5年 2月	1	35
5年 3月	6	180
5年 4月	1	150
5年 5月	6	1,212
5年 6月	6	263

資料: (株)東京商工リサーチ

主要経済指標

◆ 建築着工

(千㎡、百万円)

	建築着工総数		うち住宅着工	
	床面積	工事予定額	戸数(戸)	床面積
3年 7月	88	16,623	619	60
3年 8月	76	15,385	789	62
3年 9月	108	19,928	638	57
3年 10月	89	18,306	587	60
3年 11月	184	32,438	896	84
3年 12月	86	20,041	491	45
4年 1月	59	12,492	372	36
4年 2月	63	11,935	474	43
4年 3月	83	17,065	569	50
4年 4月	102	18,001	449	44
4年 5月	95	19,046	625	58
4年 6月	105	18,190	458	47
4年 7月	132	23,646	627	47
4年 8月	86	20,462	511	48
4年 9月	84	16,598	591	54
4年 10月	90	21,380	607	55
4年 11月	77	15,421	497	48
4年 12月	89	20,251	378	38
5年 1月	56	12,111	321	30
5年 2月	65	18,303	394	38
5年 3月	69	14,168	488	46
5年 4月	149	53,428	471	45
5年 5月	69	17,883	433	43

資料:国土交通省(石川県内)

◆ 公共工事請負金額

(件、百万円)

	件数	請負金額
3年 7月	664	15,495
3年 8月	471	11,897
3年 9月	537	15,581
3年 10月	458	8,538
3年 11月	402	9,874
3年 12月	271	4,870
4年 1月	193	8,467
4年 2月	112	2,584
4年 3月	99	4,381
4年 4月	609	22,419
4年 5月	318	22,299
4年 6月	669	26,992
4年 7月	627	15,305
4年 8月	592	18,876
4年 9月	600	15,943
4年 10月	484	10,848
4年 11月	445	13,413
4年 12月	350	8,601
5年 1月	277	5,754
5年 2月	198	6,782
5年 3月	127	4,460
5年 4月	631	29,793
5年 5月	397	18,605
5年 6月	585	18,695

◆ 新車登録台数

(台)

	普通自動車	軽自動車
3年 7月	2,837	1,439
3年 8月	2,296	1,193
3年 9月	2,105	1,175
3年 10月	2,035	1,107
3年 11月	2,544	1,448
3年 12月	2,280	1,204
4年 1月	2,206	1,265
4年 2月	2,487	1,526
4年 3月	4,396	2,484
4年 4月	1,955	1,297
4年 5月	1,846	1,089
4年 6月	2,225	1,522
4年 7月	2,418	1,513
4年 8月	2,051	1,266
4年 9月	2,785	1,751
4年 10月	2,464	1,555
4年 11月	2,472	1,785
4年 12月	2,172	1,497
5年 1月	2,367	1,564
5年 2月	2,964	1,805
5年 3月	5,044	2,572
5年 4月	2,416	1,468
5年 5月	2,319	1,382
5年 6月	2,815	1,548

資料:石川県自動車販売店協会

◆ 温泉地宿泊数

(人)

	和倉温泉	輪島温泉
3年 8月	43,264	10,400
3年 9月	21,952	7,100
3年 10月	40,773	11,400
3年 11月	59,850	15,400
3年 12月	56,440	10,500
4年 1月	33,904	5,900
4年 2月	14,279	3,800
4年 3月	38,817	8,000
4年 4月	40,914	10,900
4年 5月	47,844	15,300
4年 6月	40,805	12,100
4年 7月	45,894	12,000
4年 8月	73,700	18,700
4年 9月	49,388	14,000
4年 10月	57,583	17,100
4年 11月	63,402	17,100
4年 12月	52,440	10,700
5年 1月	34,945	6,600
5年 2月	37,993	8,100
5年 3月	62,114	14,600
5年 4月	47,156	12,600
5年 5月	50,208	15,900

資料:北陸観光協会、和倉温泉観光協会
輪島市観光協会

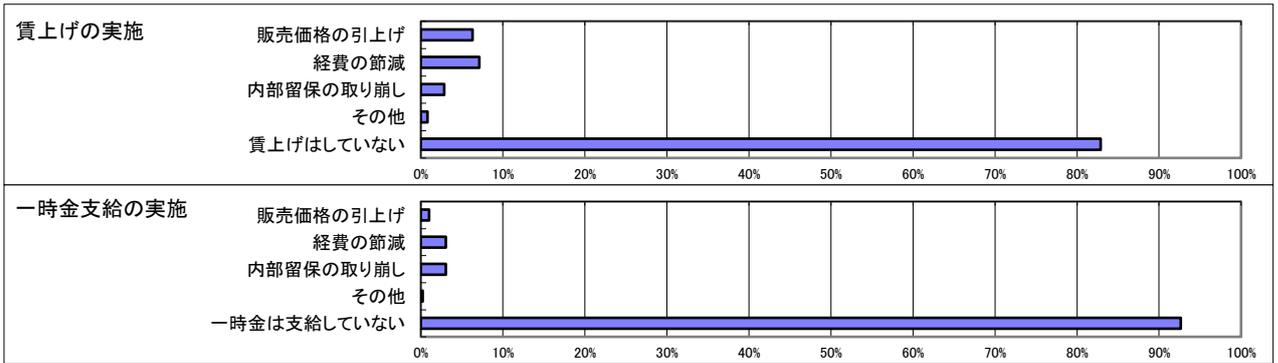
◆ 織物生産高

(千㎡)

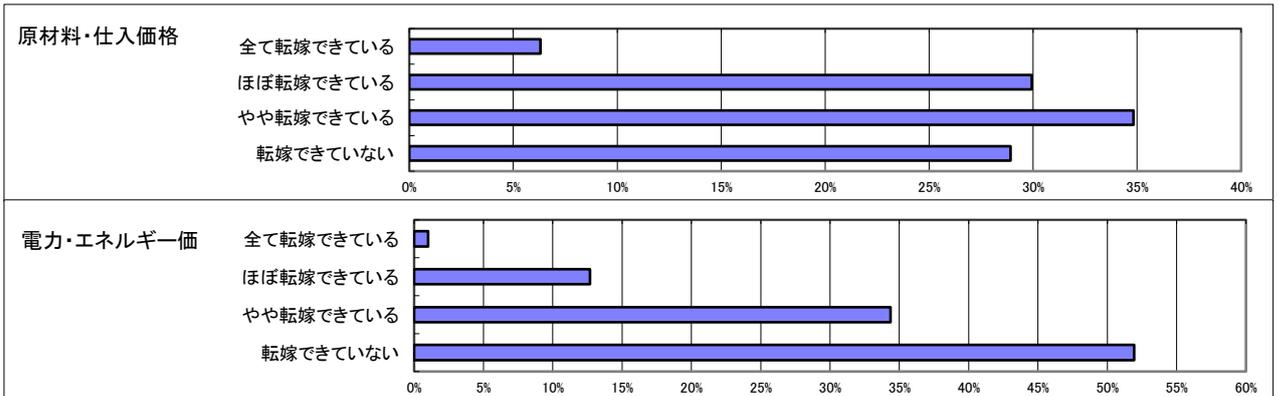
	合計
3年 7月	19,071
3年 8月	16,987
3年 9月	20,266
3年 10月	21,090
3年 11月	20,272
3年 12月	17,924
4年 1月	17,746
4年 2月	18,866
4年 3月	21,378
4年 4月	18,936
4年 5月	18,496
4年 6月	19,974
4年 7月	20,470
4年 8月	21,400
4年 9月	23,537
4年 10月	22,227
4年 11月	24,867
4年 12月	21,583
5年 1月	21,157
5年 2月	21,985
5年 3月	24,333
5年 4月	22,674

資料:石川県企画開発

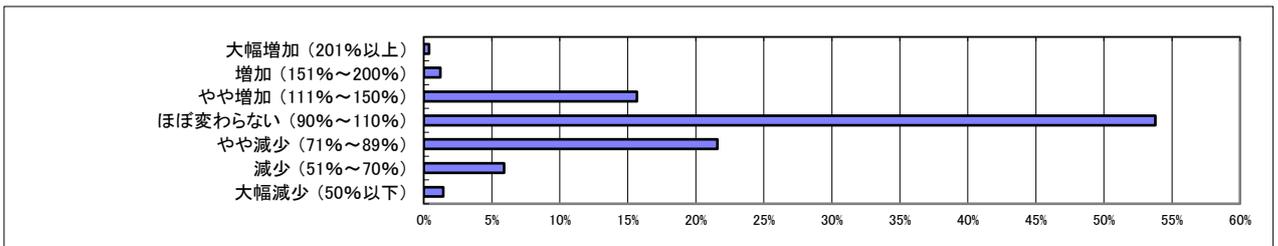
問1. 政府が企業に対して賃上げを要請していますが、貴社では賃上げ、もしくは一時金の支給を実施しましたか。



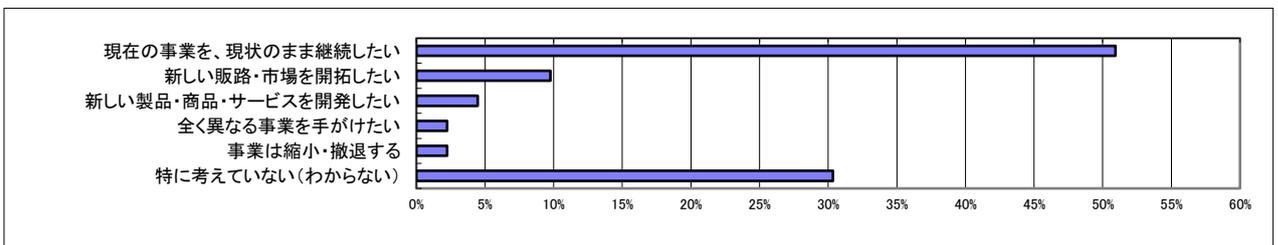
問2. 貴社では、昨今の原材料・仕入価格の上昇分や電力・エネルギー価格の上昇分相当を、販売価格に転嫁(上乘せ、値上げ)できていますか。



問3. 新型コロナウイルス感染拡大から3年が経過しましたが、貴社の現在の売上について、感染拡大前(およそ3年前)と比べ、どの程度となっていますか。



問4. 貴社では、3~5年後に向けて、現在の事業をどのように展開していきたいとお考えですか。



問5. 貴社では、人材確保のための職場環境改善へ向けて実施していることはありますか。

